

金蘭会Tokyo



2004 May No.11

金蘭会東京支部会報

編集・発行／金蘭会東京支部(大阪府立大手前高等学校同窓会)
事務局／阪本弁護士事務所
〒104-0061 東京都中央区銀座6-7-2 みつわビル3F
ホームページ／www4.airnet.ne.jp/t-kinran/

金蘭会東京支部の歩み

金蘭会東京支部が歩み始めたのはいつだったのか、記録には残っていない、高等女学校卒業生が東京地区に住む仲間を少しずつ増やし、手弁当で会合を重ね、当時は年に2回位のペースで開かれた会合が支部会になったということになっていく。支部会が総会となり数えること今年で80回、会員数も2千名を超える会に発展した。明治、大正、昭和、平成と世代を越えた仲間が、それぞれの時代を同じ学舎で過ごしたという共通の思いが東京支部の原点となっている。

支部をささえている年会費は昭和55年に5000円とし、同時に終身会費制を導入、昭和61年からは10000円とし、今日に至っている。終身会費の1万円(昭和24年以降の卒業)は据え置かれていく。一昔前は会費を信託銀行に預け、その利息で印刷費や通信費などの総会運営費を賄う事ができたが、今の経済情勢では厳しい状況となった。しかし総会の当番幹事の節約と工夫で、なんとか凌いでいるというのが現状である。メールの活用、料金後払いなどで通信費の削減、会場の花や看板などホテルとの交渉等々……関西人ならではの精神と発想のたまものといえる。

総会費が1万円という厳しい条件の中、参加者を満足させる総

会をなんとか立派に開催してきたのは当番幹事ならびに役員の方々の努力によるものである。東京支部は毎年卒業後30年という節目の学年が当番幹事となり、総会を運営するという制度をとっている。同期の再会と旧交を温める機会となること、この支部総会の発展に繋がっている要因でもある。

今年80回記念総会ということで、今までにない演出がされている。これまで東京支部を支えてきた会員、これからを担う若い世代の会員が共に同じ時間を共有し、同窓会の楽しさを、多くの会員に実感してもらいたいと願う。

80周年記念総会はデイズニースーで

金蘭会東京支部長 小田切康幸

東京金蘭会が、今年は第八十回の総会を迎える。八十といえば、人間にとっても、企業にとっても、生易しいレベルではない。あらためて、会を重ねることの意味合いの大きさと、諸先輩が築いてこられた歴史の重みをひしひ



昭和30年卒、
住友大阪セメント
代表取締役社長
東京大学法学部卒

しと感じる。

今年は、昭和四十八年卒の皆さんが当番幹事となり、知恵を絞り、新しい企画を進めていただいている。すでに、ホームペー

・時は 七月十一日(日)
・場所は デイズニースー、
ホテル ミラコスタ

曰く「古き良きイタリアの優雅な佇まいと、デイズニースーが見事に調和したホテルで、着席フルコースを召し上がりながら、懐かしいご友人や先輩後輩方と

一緒に語り合うひとときを……」
「福井日銀総裁もご出席の予定」
これなら、今までデイズニースーとご縁のなかった私でも、食指が動くというものである。幹事さんの熱気へのせられて、出かけてみようではないか。九十回、百回への出席は、どうも私には無理なような気がする……。

■閑話休題
故郷大阪も離れ、東京に集う我々東京金蘭会が、八十回を契機にますます隆盛となり、二十一世紀にはばたく集いにしていきたいものである。つよき信念とたかき理想に向かって。

●金蘭会東京支部の現状●

東京支部の会員数も昨年ようやく2000名を越えました。まだまだ未登録の関東地区在住者もおられると思いますので、若い世代を中心に掘り起こしを行っています。

支部名簿に関しては大阪金蘭会本部と連携しているわけではなく、情報交換はなかなか難しいのですが、少しずつでも改善したいと思います。

昨年、今年とIT化を進め、メールアドレスの積極的な活用に取り組んでおり、通信費用の削減だけでなく、会員相互の連絡にも役立てたいと考えています。(年配の方でメールアドレスのない方へも、不公平感のないように努めております) 今後いろいろなご意見をお寄せ下さい。

■会員数		2202名	■地域別構成	
女性	1033	46.9%	東京	843 38.3%
男性	1169	53.1%	神奈川	661 30.0%
■卒業年代構成			千葉	345 15.7%
～大正	9	0.4%	埼玉	141 6.4%
昭和元～10年	96	4.6%	茨城	74 3.4%
昭和11～20年	240	10.9%	その他	138 6.3%
昭和21～30年	324	14.7%	■メールアドレス登録	
昭和31～40年	591	26.8%	あり	683 31.0%
昭和41～50年	700	31.8%	■会費区分	
昭和51～64年	181	8.2%	終身一括払い	1092
平成元～	61	2.8%	年払い	1110

※数字は2004年4月15日現在

平田竹男さん(昭和53年卒) 日本サッカー協会専務理事就任

横浜国立大学経営学部卒、通産省(現:経済産業省)入省。ハーバード大学大学院卒。元資源エネルギー庁石油・天然ガス課長。早稲田大学客員教授。ブラジルなど海外サッカー強国との人脈が豊富であり、Jリーグ創設やワールドカップ招致にボランティアに関わった。大手前在校時はサッカー部所属。

日本サッカーのさらなる飛躍を



「代表チームを世界のベスト10に。チームを支えるマネジメントレベルも世界のベスト10を目指し、アジアと日本、世界と日本の架け橋になりたいですね」と抱負を語る。

世界と日本をつなげるサッカー外交に魅力を感じて、官僚から日本サッカー協会に移って1年10ヶ月。「アウエーでの試合の強化が代表チームの最大の強化につな

福井俊彦さん(昭和29年卒) 日本銀行総裁就任

東京大学法学部卒業、日本銀行入行。1998年日銀副総裁退任、富士通総研理事長、2001年経済同友会副代表幹事、2003年3月第29代総裁就任。その後の活躍は新聞、TVなどのニュースで報道されているとおり。熱烈的な阪神ファンであることも有名。

オンラインワン



職業柄、海外出張が多い。長時間飛行の途上、まず仕事の準備不足の挽回、余すところは頭を一旦空にするため、出来るだけボヤーンと過ごすよう心掛けている。

ところがこれが案外難しい。普段何となく気になっていた事柄が、急に浮かび上がってくる。例えば、「どうすれば日本の若い人達をもっと澁刺と活動するようにな

る」か?」

もとより、近頃の若い人達は熱心に勉強をする。時間外勤務などには苦もなく取り組む。ただ惜しむらくは、「何処かで発想を切り替え、一から自分の頭で考え直してみる」というようなことにあまり慣れていない。高校や大学で受けた教育、いわゆる企業戦士となるための厳しい訓練などが、その遠因となっているのかどうか。

グローバル化と呼ばれる新しい時代の潮流の中で「夢」を追いかけて行くためには、今こそ一人一人の独創性が強く求められている。

不思議なことだが、その点、昔「が」とよりよい対戦相手を探し国際試合の準備に忙しい。

例えば2006年W杯アジア予選突破のために、「本番から逆算してどんなチームといつどこでどういう試合をやればよいのか(マッチメイク)」を考え、戦略的にスケジュールを組み立てる。

「2002年W杯開催を成功させた日本ですからどんな強豪でも交渉できます。6月1日のイングランドとの親善試合がとても楽しみです。U-23日本代表のアテネオリンピック出場も決まりました。」中田英に続く新しいスター、平山、田中達や闘莉王のような選手が五輪世代から出てきてすぐうれしい」と新しい世代への期待

の私達の方が恵まれていた。高校時代も、大学時代も、就職してからの若造の頃も、比較的「自由」な雰囲気の中で、自分で考える時間的裕りが与えられていた。経済が繁栄する過程で、逆にそういう裕りが失われつつあることを知りながら、放置して来た私達の世代にこそ責任があるように思えてならない。

昨年の暮れ、長崎大学で若い学生さん達と対話をする機会を得た。私は、スマップの歌を引用しながら、優等生の序列で「ナンバーワン」を狙うよりも、世界で一つだけの花「オンラインワン」を目指せと訴えた。反響は意外に良かった。

からマッチメイクに一層力が入る。

1年の3分の1は海外で国際交渉を精力的にこなすが、その活力源は「サッカーを強くすることが日本人を元気にする」という強い思いにある。また、「日本代表チームを応援する若者が日の丸を振り、君が代を歌う姿を見ると、がんばらなきゃという気持ちになります」。

Jリーグ発足から12年目。「今、都心のサッカー人気はすごい。近所の公園は子供から若者までフットサル(ミニサッカー)する人でいっぱい。サッカーをする人を見る人両方にいい話題を提供したいですね」と日本サッカーのさらなる飛躍に意欲を燃やしている。

取材・会報編集委員



ギフトに最適
カラカラのタオルセレクション。

Towel Salon
CARA CARA

帝国ホテルアーケード店/03-3503-8489
ホテルニューオータニ赤坂店・新宿京王プラザホテル店・渋谷東急プラザ店・横浜元町店・横浜ルミネ店・そごう千葉店・大阪ヒルトンプラザ店・帝国ホテルプラザ店/大阪

上田 善久(昭和36年卒)



医療法人社団

仁愛会歯科

理事長 奥村 弘一郎

自由が丘クリニック(自由が丘駅南口スグ) Tel.03-3724-7741

日吉クリニック(日吉駅前) Tel.044-63-8341

網島台クリニック(網島公園北側) Tel.045-542-0140

診療時間 ■ 10:00~13:30 14:30~18:30

休診日 ● 日曜・祭日・木曜

(昭和30年卒)

総会の時

秋吉 富夫(昭和27年卒)

第80回金蘭会東京支部総会を心からお祝い申し上げます。ご依頼がありましたので、支部長時代の思い出を少々披露させて頂きます。私は昭和61年から平成4年までの6年間支部長を務め、中村節子先輩から引継ぎ、小田切康幸先輩にバトンタッチをしました。支部長在任中は「年次を超えた縦のつながりの強化」を図るため、地域別に地区会の設置を試みたり、「大阪本部に対する副都心支部としての東京支部の位置付け」に努力をしました。

毎年5月連休明けに開く新入会員(大学生)歓迎会での彼等の旺盛な食欲に目を細めたり、多士済々の支部役員との楽しい打ち合わせや強力なサポートしてくれた同期の仲間との歓談の日々は今も忘れられません。ただ最大の痛恨事は、平成元年の「幻の金蘭会100周年東京支部総会」でした。副都心支部の勢威を内外に誇示すべく、昭和33年度幹事の方々と協力して、横浜港クルージング船上パーティーを半年がかりで準備していましたが、運悪く前日の台風にぶつかり、年に1〜2回あるかないかのクルージング船の出航不能により催行中止になったのです。

又、何回かの総会で、莊重な校歌の斉唱でピシッと終わればよいものを、支部長に気を遣って…？私が作詞した応援歌を歌おう…と云う事になり、冒頭の「紫の…」は快調な滑り出しなのですが、やがてご一同歌詞の記憶が曖昧(作詞者も含めて!)となり、辛うじて終わりに辿り着く…という微苦笑モノ的一幕があったのも懐かしい思い出です。東京支部の益々のご発展をお祈りします。

教育と著作権

三田 誠広(昭和43年卒)



わたしは小説家だが、日本文藝家協会で著作権問題の責任者をしているので、文化庁や文部科学賞に出向くことも多く、文化審議会の著作権分科会、法制問題小委員会の委員も務めている。議員の方々に陳情したり、説明に向くことも多いのだが、そういう時に、わが高校時代の同窓生の辻恵くんが、衆議院議員になったことは、大いに心強いことである。辻くんはただの議員ではない。まずは弁護士として、法律に詳しいということもあるが、何よりも彼は、正義の味方であり、文化や芸術についても造詣が深い。

政府はいま知財政策というものを打ち出して、著作権にも理解のあるところを示しているが、その本音は海外で人気のあるアニメなどで儲けようということにすぎず、自国の文化の保護という点に関しては、充分な見識があるとはいえない。そこでこの機会を借りて、辻くんをはじめ民主党の議員の方々に、エールを送りたいと思う。

まずは図書館の問題がある。国民には図書館で本を読む権利があるが、図書館でタダで本を読む人が増えると、著作家の収入が減る。そこでヨーロッパなどの先進国では、国家が基金を作って著作家に補償金を支払い、自国の文芸文化を保護している。その点、日本は後進国というしかない。もう一つは、教育機関における複製の問題である。教科書がうすくなり、現場の先生方の判断で個性的な教育が推進されるのは好ましいことだが、著作物を無制限にコピーされるのは困る。これも国家基金による補償金制度を確立すべきだろう。

文芸文化は国や民族のアイデンティティーの基礎である。政治家の見識と意欲によって、積極的な文化の保護が実現されることを期待したい。

「バーチャル家族」

宇恵 一郎(昭和46年卒)

足元から好奇の視線で舐め上げて目元で止まる。小首かしげ、遠い面影がにじんでだぶる。「い

や、なに、その白髪…」は呑み込み、「変わらんねえ」。

30年ぶりの再会は、うれし、恥ずかし。東京支部総会の幹事学年で故郷を離れた20数人が顔を合わせて2年。それからはもう…

「友達方より」で一献、「S君、海外赴任やて」で痛飲。「故郷大阪は粉食文化」で盛り上がる。たこ焼き、お好み焼き、餃子の実演試食会。ラグビー観戦、マージャン、ハンゲル講座の分科会も次々と生まれる。昨年9月には伊豆に一泊修学旅行を敢行。イベントは月一ペース。3月末に新宿御苑の花見を終えれば、話題は5月末の尾瀬登山に移る。

連絡用のインターネット掲示板への書き込みは、3月末で2800件を越えた。岐阜から秋田まで関が原以東の男女メンバー40人から、身辺雑記、花、山、スキー、文学と話題は縦横無尽。悩みごとを書き込めば、その日のうちにアドバイスがドサリと届く。

思えば50歳のひとやま越えて、それぞれに仕事はさておき遊び盛り、花盛り。子育てひと段落の「女子」の参加で盛り上がる。

「近ごろ疎遠な家族よりつきあい濃い」てかXはん。

メンバーK君がお茶の水に開くバー「DefShot」がアジト。今宵もだれかが、カウンターでグラスを舐めながら、大阪弁でクダ巻いて待ちかまえている。

Music & Bar

DefShot

<http://www.defshot.com/>

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-26-24
新小川町ビルB1 03-5281-1128

日本ミルクコミュニティ株式会社

MEGMILK

監査役 阪本 清

(昭和42年卒)

Topics/News/Information 2003~2004

◎山本 義隆さん(昭和35年卒) ……「磁力と動力の発見」(みすず書房)、大佛次郎賞を受賞(2003.10)
略歴／東京大学理学部物理学科卒、元東大全共闘代表、予備校講師

◎小畑 精和さん(昭和46年卒) ……「ケベック文学研究」(お茶の水書房)、カナダ首相出版賞審査員特別賞を受賞(2003.5)

略歴／京都大学文学部卒、明治大学政経学部教授



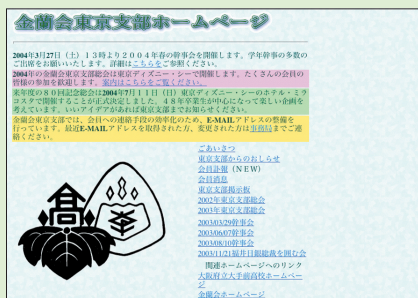
◎赤秀公造さん(昭和32年卒) ……NHKテレビ「プロジェクトX 挑戦者たち」に出演。「世界最大の船、火花散る闘い」において、難しい高張力厚鋼板の溶接問題を解決する技術開発について解説した。(2003.1.7)

略歴／大阪大学工学部溶接工学科卒、元川崎製鉄(株)

◎和田浩子さん(昭和46年卒) ……日本トイザらスの社長兼最高執行責任者(COO)に就任、同社は日本最大のおもちゃ・子供用品の専門チェーン(2004.4)

略歴／大阪外国語大学英語学科卒、元米P&Gバイスプレジデント、元ダイソン社長

◎金蘭会東京支部ホームページのお知らせ……支部会ニュース、総会案内、関連リンクページ等が見られます。アドレス登録をまだお済みでない方は、こちらからお願いいたします。



<http://www4.airnet.ne.jp/t-kinran/>

編集後記

▼スタイル一新の金蘭会東京支部会報第11号をお届けします。昭和61年の第1号以来、18年間に11回という気まぐれ刊です。常時の忙しさと途切れ途切りの熱意の結果でしょうか▼今回は、従前のワープロ印刷による文集イメージから、プロ(もちろん金蘭会会員)による紙面設計と編集のおかげで、スマートなミニコミ紙イメージに飛躍しました▼また会員の方々から広告を頂戴し、印刷費に充当しました。ありがとうございました▼第1号の会報に「東京支部の夢はパソコンつきワンルームマンション」とあります。夢は将来へ果てしなく続く……。

最年長会員より 同窓会への思い



堀 朝子(昭和4年卒)

東京支部同窓会で私が最年長である為か、なにか一言書けと言われても一、二頁では書き尽せないものがあります。

大手前高等女学校昭和四年卒で、これ迄の過ぎ越しを思えば戦争もあり波乱に満ちた人生と云えませう。十何年か前から東京支部の同窓会にお招きを受け出席させて頂き、戦後大手前高等学校となつてからの男性の方も共に連なり、有意義な催し物や皆さんと

80回記念総会へのご参加よろしく

長谷川 誠(昭和48年卒)

2年前クラブの先輩からお誘いを頂いたのがきっかけで、今年の支部総会の幹事代表を拝命する

親しくお交わりさせていただき、これからも本当に楽しみにしています。私は心臓肥大と神経痛があり、二病息災とでも言ひませうか、主人亡き後娘の家族と今は平穏な日々を過ごしております。四月二十五日で九十三歳になる私はいつ何が起るかわかりませんが、是非八十回記念年同窓会に出席する為に神様のお守りがあることを祈っております。

こととなりました。80回の記念総会なので、多くの参加者を集める事と、記念総会にふさわしい内容にすることが、至上命題となりました。同窓会という緩やかな団体の中で、幅広い年齢層の方の満足度の高いものを揃えるのはとても難しいことだと思ひます。支部役員の方々との打合せ等では、慣れないせいもあり、ずいぶん迷惑をおかけしましたが、なにより嬉しかったのは、多くの諸先輩の方々から、幹事のメンバーに向けて、応援のメッセージを頂いた事です。

料理はイタリア風のフルコースディナー、1万円です十分楽しんでいただけたと思います。皆さん、お友達をお誘いの上、是非とも参加していただくよう宜しくお願いします。

いま企業が直面する様々な課題を、オービックはワンストップで解決します。

多彩な業種・業務ソリューションを誇る
統合業務ソフトウェア

OBIC7
オービックセブン

ホームページ www.obic.co.jp
フリーダイヤル 0120-023-019

システムインテグレータの **オービック**

東証第1部上場(証券コード:4684)